

2025年度西宮市予算案 発表される！

2025 年度西宮市予算案がこのほど発表されました。

2023 年 10 月以来、市は「財政危機」を叫び、2024 年 11 月には「財政構想改善実施計画」の素案を提示。12 月末にかけて市民意見募集(パブリックコメント)が実施され、市民 675 人から 1510 件の意見が提出されました。その多くは計画を批判し、反対するもので、市は意見を受け、いくつかの修正を行いました。(詳細は 2 面)

新年度予算案は、これらも反映させながら、「厳しい財政状況の中、財政構造改善の取り組みを着実に進めつつ、①子育て支援など社会保障関係経費、②清掃施設や学校施設などの老朽化対策、③まちづくりへの投資に資する事業、の 3 点に重点配分した、と説明しています。

	2025 年度	2024 年度	増減額	増減率
一般会計	2226.63 億円	2032.09 億円	194.53 億円	9.6%
特別会計	970.50 億円	944.39 億円	26.11 億円	2.8%
企業会計	465.50 億円	463.87 億円	1.63 億円	0.4%
総 額	3662.64 億円	3440.36 億円	222.27 億円	6.5%

で無償化 …7 月より 1 歳～中学生までの所得基準以上の世帯のこどもと高校生世代の入院費のみ無償化。同じ対象児童生徒の外来は、一部負担ありのまま。

*** 学校体育館エアコン設置** …新年度 11 小、1 高校に設置し、全学校完了。

*** ゴミ分別区分の見直し** …26 年完成の東部総合処理センター破砕選別施設稼働にあわせて実施。新年度は住民説明会、チラシ全戸配布。一部地域で先行開始。

歳入 個人市民税を中心に市税増 国の財政対策も前年度上回る

*** 定額減税の大幅な縮小や給与所得の伸びによって個人市民税は前年比 32 億円増(+8.3%)、新增築増などで固定資産税 6.7 億円増(+2%)。歳入の根幹である市税全体では 43.3 億円増(+4.8%)**

*** 株式取引の好調や消費税収入増により市に交付される国からの各種交付金も前年度より大幅増が見込まれました。**

*** 市の財源不足を補うための国からの地方交付税は、社会保障関係費や人件費の増加、物価高を見込み、前年度より 9.82 億円増(+15.7%)。また、国の財源不足から振替財源として措置されていた臨時財政対策債(借金)は 2001 年に制度が始まって以来初めてゼロ(前年比 5.9 億減)となりました(=国が全額現金で措置)。よって実質的な地方交付税は 3.9 億円増です。**

歳出 新規・拡充施策を中心に紹介します。

*** 公立認定こども園整備** …公立幼稚園と公立保育所を統合し、認定こども園に。その際、保育所定員は全体で 231 名削減。新年度は浜脇地域で実施。

*** 児童育成支援拠点設置** …学校や家庭に居場所のない児童等の居場所を開設。新年度は 1 か所でモデル実施。

*** 養育費確保のための強制執行申し立て費用補助** …15 万円を上限に補助。

*** ひきこもり地域支援センター開設** …40～60 歳のひきこもりの人(市で 6 千人と想定)の相談や居場所づくり

*** 学校部活動の地域クラブ移行準備** …新年度は活動団体の募集、一部で先行実施。

*** 学校長寿命化、学校トイレ改善** …長寿命化では 5 校。トイレは 6 小学校 27 か所、6 中学校 22 か所。

*** こども医療費助成入院のみ高校生ま**



**「財政が厳しい」と言いながら
まちづくりの投資事業は着々と**

*** 本庁舎周辺ウォークابل** …市役所玄関前に続き、六湛寺公園の未整備区域を含めたりニューアル。

*** 阪神西宮駅北地区(再開発・区画整理)** …新年度は、再開発で事業計画作成等、区画整理は調査設計

*** 阪急武庫川新駅設置** …阪急神戸線の武庫川橋梁部に新駅を設置。総事業費約 86 億円。市の負担は約 16 億 7 千万円。2028 年度に工事着手し、31 年度完成めざす。

福祉削るな！

投資事業こそ見直せ！

「財政構造改善実施計画」パブコメに625人・1510件の意見

市の「赤字体質」を正すためとした「財政構造改善実施計画」の素案に対する市民意見募集（パブリックコメント）が昨年11月末から12月末にかけ実施され、市民675人から1510件の意見が寄せられ、2月3日の総務常任委員会で結果についての報告がありました。

圧倒的だったのは、福祉施策の見直し＝「福祉削るな」の声でした。また、素案の「まちづくりに資する投資事業は厳選して実施する」に対しても批判が多く寄せられたのが特徴です。

パブコメでは、すべての意見について「市の考え」が示された上で、①素案に記載済みの内容、②素案を修正、③今後の参考・検討とする、④素案の通りとする、⑤その他に区分され、公表されます。（市役所、支所等での配布、ホームページ）

多くは③の「素案の修正はしませんが、意見は今後の参考（検討）にします」としてありますが、福祉サービス見直しの一部について見送り、後送りすることが明らかにされました。（右表）

水道料金等福祉減免制度を廃止し、別の福祉給付金制度を創設する修正案について、野口議員は、「パブコメ意見にもあるように『命に直結する福祉』という理念は大切にすべき。2000円程度の福祉給付金はどのような理念で支給するのか。水道料福祉減免はなくすべきではない」と質問。委員会に出席していた市長は、「所得制限を実施する費用対効果や、理念等も含めて、実施までのこの1年で検討しなす」と明言しました。

一方、批判の多かった阪神西宮駅北再整備事業

7億7500万円

物価高騰対策・国交付金の使い道は…

昨年末臨時国会で決定された、物価高騰対策に地方自治体が自由に施策を実施できる交付金（6000億円）が、西宮市には7億7500万円交付されました。

市実施予定の予算案が以下の通り示されました。

- * 学校給食の食材費高騰（25、26年度分）…2億5800万円を活用、保護者負担としない。
- * 就学前児童応援給付 …1億6000万円。0歳～6歳児に1名当たり5000円の電子マネー給付。
- * 児童福祉施設、介護施設、障害福祉サービス事業所に支援金、3億7200万円。
- * 公衆浴場、バス・タクシー事業者に支援金、6200万円。

なお、予算は交付金総額より多めに見込まれています。

パブコメによって一部修正へ

修正された項目は次の通りです

*水道料金、下水道使用料福祉減免制度見直し

身障手帳1・2級、療育手帳A、精神障害手帳1級所持者世帯の基本料金（約2000円/月）を26年度半額、29年度廃止



26年度廃止し、27年度から収入制限をした上で（対象者は約半分に）同等額の福祉給付金制度を新たに創設

*医療助成制度の見直し（障害者）

身障手帳4級（入院のみ）、療育手帳B2所持者を助成対象外とする



計画から削除

*医療助成制度見直し（高齢期移行、母子家庭等）

所得制限引き上げ実施時期を、25年7月→26年7月に1年後送り

*はり・きゅう・マッサージ施術費補助見直し

補助対象者を70歳以上から75歳以上に引き上げる実施時期を26年度完全実施



26年度から毎年1歳ずつ引き上げ、段階的に移行

*その他、人件費の抑制、外郭団体の見直しの修正

計画撤回！

（図書館新設含む）などの投資的事業は、一切見直されていません。計画案には未定の項目も多々あり、今後も「福祉削るな」「投資事業こそ見直せ」と声を上げていきましょう。



議員報酬削減は反対多数で決まらず！

2024年度は議員報酬について5%削減が賛成多数で決定し、実行されていました。党議員団は、「そもそも西宮の議員報酬は高く、下げるべき」との立場から賛成。新年度の議員報酬も引き続き下げるべきと議会運営委員会で提案しましたが、党議員団と維新の会以外の会派は反対で、決まりませんでした。

予 算 説 明 懇 談 会

兵庫県ならびに西宮市2025年度予算の概要及び3月議会の内容を報告し懇談する会を、以下のとおり開催します。ぜひお越しください。

⓪ Ⓜ 3月29日（土）14時から

⓪⓪⓪ 西宮勤労会館第8会議室

⓪Ⓜ 日本共産党西宮市会議員団